

令和6年度～令和8年度

県立高校等再編整備計画

— 生徒一人一人の夢を叶える特色ある学校づくりの推進 —



令和5年7月

新潟県教育委員会

はじめに

人口減少や社会の急激な変化が進む中、本県では生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす教育環境の整備や、将来の新潟を担う人づくりが求められていることから、平成28年3月に、今後の学校・学科のあり方についての中長期的なビジョンである「県立高校の将来構想」を策定しました。

また、県教育委員会では、中央教育審議会答申を受け、県立高等学校等の役割や理念を明確にし、中学生、地域住民等に分かりやすく提示することを目的として、各学校や地元自治体の意見をふまえて、各学校の社会的役割、目指すべき学校像などを「スクール・ミッション」として再定義し、令和5年3月に公表しました。

新しい高等学校学習指導要領では、複雑で予測困難な時代の中でも、生徒一人一人が社会の変化に主体的に向き合って関わり合い、多様な他者と協働しながら問題を発見し、解決していくために必要な力を育てていくことを重視しており、そのための教育環境を整えることがより一層重要となっています。

県教育委員会では、文部科学省事業「COREハイスクール・ネットワーク構想」に採択されたことを受け、「新潟の未来をSaGaSuプロジェクト」に取り組んでいます。令和5年度からは県独自の「遠隔教育推進事業」により教科・科目充実型の遠隔授業や学校間連携についても研究をすすめていくこととしています。これらの研究の成果も踏まえながら、今後の県立高校のあり方について、検討を進めることとしております。

今回お示しする県立高校等再編整備計画は、「県立高校の将来構想」に基づいて、中学1年生が高校入学時の学校・学科のおおよその姿が分かるように、向こう3か年分について公表するものです。

本計画の策定にあたっては、小中学校の在籍生徒数や各高校の志願状況、中学生の進路希望等に加え、教育に対する社会のニーズや県の課題にも留意しました。

なお、本計画における令和6年度から令和8年度の募集学級数の見込みは、現時点でのデータに基づく見通しをお示ししたものであり、令和6年度の募集学級数ならびに募集定員については、今後、最新の学校基本調査の結果等も踏まえ、本年10月の教育委員会の議決により、決定されます。

なお、本計画では、令和3年3月に提出された県立中等教育学校あり方検討委員会報告書の提言に基づき、令和3年度から令和4年度の間、中高一貫教育の検証と地元自治体との意見交換を行ってきた結果をふまえた、今後の中等教育学校のあり方の方向性をお示ししました。

県立高校等の再編整備は、保護者をはじめとする県民の皆様の御理解・御協力が不可欠でありますので、現在の高校等の教育を取り巻く現状や本県の課題等を御理解いただき、一層の御協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年7月6日

新潟県教育委員会教育長
佐野 哲郎

再編整備計画（令和6年度～令和8年度）

1 基本的な考え方

「県立高校の将来構想」に基づき、魅力と活力ある学校づくりを推進する

- (1) 「県立高校の将来構想」の「3つの基本方針」を踏まえた魅力ある学校づくりを目指し、本県独自の新たな「5つのタイプの高校」を順次設置していく。

【3つの基本方針】

- ◇ 様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成する教育の推進
- ◇ 県外の生徒も学びたくなる魅力的な学校づくりの推進
- ◇ 地域との連携を深化させた人づくりの推進

【高校の5つのタイプ】

- ◇ 専門分野を探究する高校
- ◇ 学科総合型の産業高校
- ◇ 大学進学を重視した学究型の高校
- ◇ 総合選択制の高校
- ◇ 柔軟な学びを可能とする高校

- (2) 県内を6つのエリアに分け、そのエリアごとの中学校卒業者数及び他エリアとの生徒の流出入状況等を勘案しながら、募集学級数の見込みを検討する。
- (3) 1学級あたりの生徒数を40人とし、1学年あたり4～8学級を望ましい学校規模として教育の質的な向上と学校の活性化を図ることを基本とする。

【1学年あたり4～8学級のメリット】

- ◇ 多様な人間関係の中で切磋琢磨する機会が増えること
- ◇ 各教科で一定の教員数を確保できるため、一人一人の興味・関心や進路希望に応じて選択できる科目が増えるとともに、新しい高等学校学習指導要領で重視されている教科等横断的な学習がより一層充実すること
- ◇ 多様な部活動の設置や部員数の確保が可能となり、部活動が充実すること

- (4) 小規模校においては各学校における教育の特色化について、市町村や地元企業からの協働の提案等も踏まえて学校が取組を進め、その取組状況や、志願状況、入学状況、卒業生の進路状況を評価しながら、地域の交通事情や地元生徒の入学状況など地域の特性も踏まえて、小規模校のあり方の検討を進める。また、「新潟の未来をSaGaSuプロジェクト」で得られた成果をもとに、遠隔教育や地域協働などによる、小規模校の教育環境の整備・充実を進める。
- (5) 生徒が自ら学習形態や通学方法などを柔軟に選択できる機会をつくるため、定時制課程・通信制課程をもつ新たな高校について検討する。

(6) 中等教育学校については、令和3年3月に提出された「県立中等教育学校あり方検討委員会」の報告書の提言に基づき、それぞれの学校が、より一層の学習面の充実や、グローバル教育、地域探究活動の推進など、地域における役割や生徒のニーズを踏まえた特色化・魅力化に取り組むこととしており、県教育委員会は、令和3年度～令和4年度の間、中高一貫教育の将来的なあり方について、地元自治体との意見交換を継続して行い、令和5年度にそれぞれの中等教育学校の特色化の状況や志願状況等について検証した上で、そのあり方を検討する。

【県立中等教育学校あり方検討委員会の提言】

〔総括〕

県教育委員会は、本県中等教育において、生徒にとってより良い教育環境の整備に引き続き取り組むべきである。

県立中等教育学校は、6年間を見通した計画的・継続的な教育活動により、大学進学等において顕著な実績をあげるとともに、地域の小中学校、高等学校に刺激を与え、本県中等教育活性化の役割を果たしてきたと評価できる。また、地域コミュニティにおける重要な役割を担っていることも踏まえ、当面は、存続の可能性を模索する必要がある。このために、県立中等教育学校は、志願者数増加に向けた一層の特色化・魅力化に取り組むべきである。

一方で、人口規模や交通事情、エリアにおける高等学校の配置など、地域によって状況が異なることから、令和5年度に、それぞれの中等教育学校の特色化の状況や志願状況等を検証することとし、中高一貫教育の実施形態の転換など、地域の状況に応じた将来的な対応について検討すべきである。

地域の高等学校や中高一貫教育の将来的なあり方については、県教育委員会と地元自治体との間でビジョンを共有する必要があることから、地元自治体との意見交換を継続して行うべきである。

〔提言〕

1 志願者数増加に向けた県立中等教育学校の特色化・魅力化

県立中等教育学校においては、当面は、存続の可能性を模索し、志願者数増加に向けた一層の特色化・魅力化に取り組むべきである。

特色化にあたっては、すべての中等教育学校で同様の取組を進める必要はなく、それぞれの地域における中等教育学校の役割や生徒のニーズなどを踏まえた特色化を進めることが適当である。

2 中高一貫教育の将来的なあり方

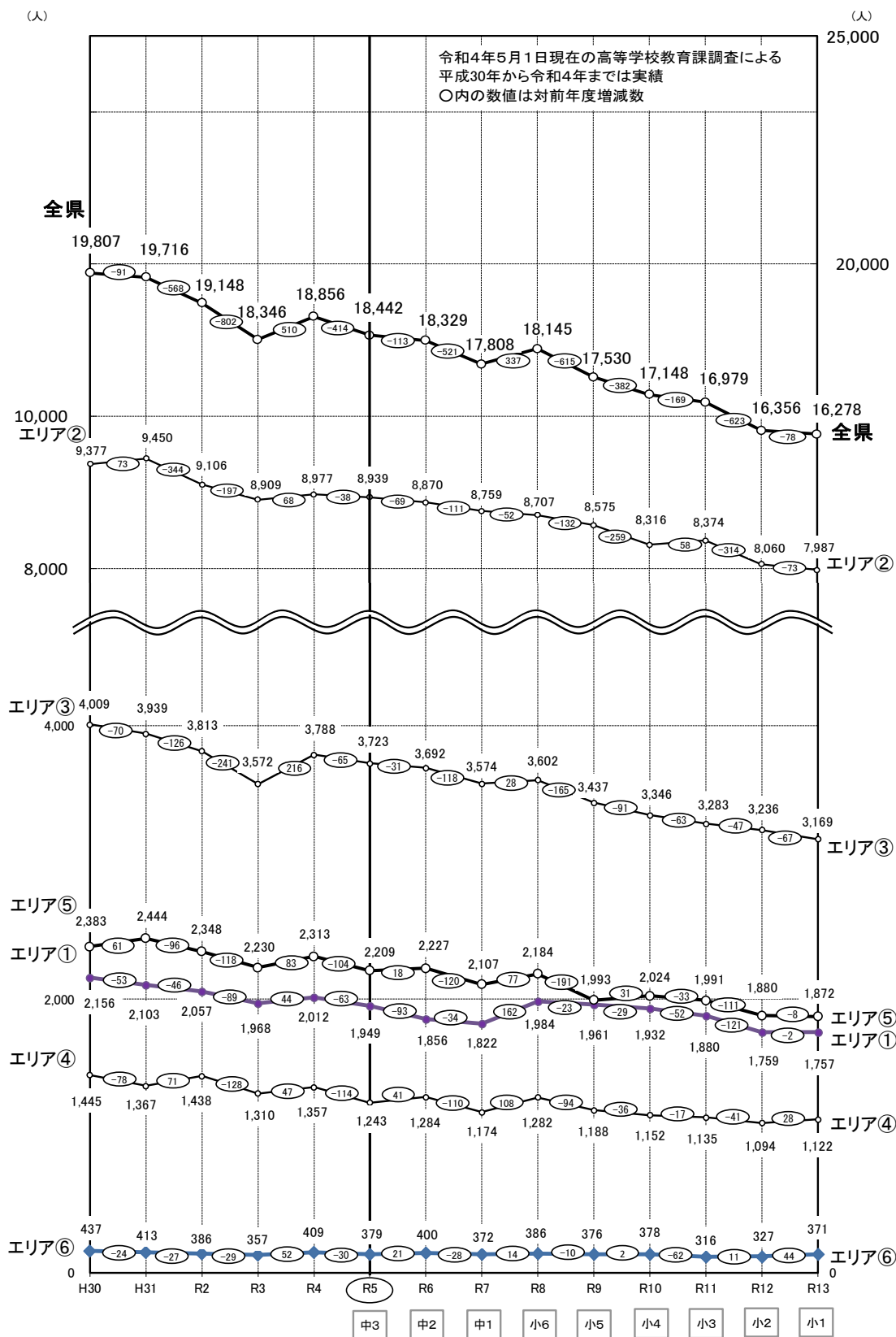
当面は、県立中等教育学校の存続を模索すべきであるが、地元自治体と意見交換を行った上で、地域の状況によっては、中高一貫教育の実施形態の転換など、中高一貫教育の将来的なあり方について検討すべきである。

3 地元自治体との関係

地方創生を進める上で、学校と地域の連携・協働の必要性が指摘されていることから、県立中等教育学校の志願者数増加に向けた取組については、地元自治体からの支援も重要である。

また、県教育委員会は、令和3年度～令和4年度の間、中高一貫教育の将来的なあり方について、地元自治体との意見交換を継続して行い、令和5年度にそれぞれの中等教育学校の特色化の状況や志願状況等について検証した上で、そのあり方を検討することが適当である。

2 エリア別中卒者推計



3 計画内容

(1) 県立高校等の募集学級数等

- ※ 各年度の中学校卒業生数は、令和4年5月1日現在の学校基本調査による推計値である。
- ※ 学級数及び学校数は中等教育学校後期課程を含む合計数である。また、分校も1校として算入している。

		R5	R6	R7	R8
全県	中学校卒業生数	18,442	18,329	17,808	18,145
	前年差	-414	-113	-521	337
		R5	R6	R7	R8
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	320	314	304	308
	全日制増減	-13	-6	-10	4
	定時制学級数	15	15	15	15
	定時制増減	0	0	0	0
	全定学級数	335	329	319	323
	増減	-13	-6	-10	4
	全日制学校数	79	78	78	78
	学校数増減	-1	-1	0	0
	定時制学校数	9	9	9	9
	学校数増減	0	0	0	0

〈参考〉 新潟市立学校及び私立学校（全日制）の募集学級数等
[新潟市立学校]

		R5	R6	R7	R8
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	9	9	9	9
	増減	0	0	0	0
	定時制学級数	4	4	4	4
	増減	0	0	0	0
	全定募集学級数	13	13	13	13
	増減	0	0	0	0
	全日制学校数	2	2	2	2
	増減	0	0	0	0
	定時制学校数	1	1	1	1
	増減	0	0	0	0

※ 新潟市教育委員会による計画

[私立学校]

		R5	R6	R7	R8
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	115	115	115	115
	増減	0	0	0	0
	全日制学校数	16	16	16	16
	増減	0	0	0	0

※ 総務部大学・私学振興課調べ

(2) エリアごとの計画

(エリア① 新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村)

	R5	R6	R7	R8
中学校卒業者数	1,949	1,856	1,822	1,984
前年差	-63	-93	-34	162
	R5	R6	R7	R8
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	35	33	32	34
増減	-2	-2	-1	2
定時制学級数	3	3	3	3
増減	0	0	0	0
全定学級数	38	36	35	37
増減	-2	-2	-1	2
全日制学校数	9	9	9	9
増減	0	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし
令和8年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した遠隔授業などの実施を踏まえ、小規模校のあり方について検討する。 ・中等教育学校のあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
村上	普通	4	3	3	4	
村上桜ヶ丘	総合	3	3	3	3	
中条	普通	2	2	2	2	
新発田	普通	6	6	6	6	
	理数	1	1	1	1	
新発田南	普通	4	3	3	4	
	機械工学	4	4	4	4	
	建築工学					
	土木工学					
電子情報工学						
新発田農業	生物資源	4	4	4	4	
	食品科学					
	環境科学					
新発田商業	商業	3	3	3	3	
	情報処理	募集停止				
阿賀野	普通	2	2	1	1	
計		33	31	30	32	

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
西新発田	普通(午前部)	2	2	2	2	
荒川	普通(午前部)	1	1	1	1	
計		3	3	3	3	

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
村上中等教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

(エリア② 新潟市、三条市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、阿賀町)

	R5	R6	R7	R8
中学校卒業生数	8,939	8,870	8,759	8,707
前年差	-38	-69	-111	-52
	R5	R6	R7	R8
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	143	139	138	135
増減	-3	-4	-1	-3
定時制学級数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0
全定学級数	144	140	139	136
増減	-3	-4	-1	-3
全日制学校数	29	29	29	28
増減	0	0	0	-1
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 新潟工業高校を学科改編する。
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 三条高校に理数科(仮称)を設置し、メディカルコースを設置する。
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> 新潟北高校と豊栄高校を統合する。 新潟北高校の校舎内に地元企業等と連携したデュアルシステムを取り入れたキャリア教育を特色とする高校(単位制による全日制課程普通科)を新たに設置する。

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> 中等教育学校のあり方について検討する。 ICTを活用した遠隔授業などの実施を踏まえ、小規模校のあり方について検討する。 学際領域学科や地域社会学科など普通教育を主とする新たな学科の設置について検討する。
------	---

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
豊栄	普通	2	2	1	統合	
新潟	普通	7	7	7	6	
	理数	2	2	2	2	
新潟中央	普通	5	5	5	4	
	普通(学究コース)	2	2	2	2	
	食物	1	1	1	1	
	音楽	1	1	1	1	
新潟南	普通	8	8	8	8	
	普通(理数コース)	1	1	1	1	
新潟江南	普通	7	7	7	7	
新潟西	普通	7	7	7	7	
新潟東	普通	7	6	7	7	
新潟北	普通	4	3	3	統合	
新潟北・豊栄統合校	普通				4	
新潟工業	機械	2	学科改編			
	電気	2				
	建築(建築コース)	1				
	建築(建築設備コース)	1				
	土木	1				
	工業化学	1				
	工業科*					7
新潟商業	総合ビジネス	4	4	4	4	
	情報処理	2	2	2	2	
	国際教養	2	2	2	2	
新潟向陽	普通	5	5	5	5	

*学科改編後に設置する学科については、募集学級計画公表時に示す。

<全日制課程>

高 校 名	学 科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
巻	普 通	7	7	7	7	
巻総合	総 合	4	5	5	4	
新津	普 通	6	6	6	6	
新津工業	工業マイスター	1	1	1	1	
	生産工学	1	1	1	1	
	ロボット工学	1	1	1	1	
	日本建築	1	1	1	1	
新津南	普 通	4	3	3	3	
白根	普 通	2	2	1	1	
五泉	総 合	5	5	5	5	
村松	普 通	2	2	2	2	
阿賀黎明	普 通	1	1	1	1	
三条	普 通	6	6	5	5	
	理 数(仮称)			1	1	
三条東	普 通	6	5	5	5	
新潟県央工業	機械加工	4	4	4	4	
	電子機械					
	情報電子					
	建設工学					
三条商業	総合ビジネス	3	3	3	3	
吉田	普 通	2	2	2	2	
分水	普 通	2	2	2	2	
加茂	普 通	4	4	4	4	
加茂農林	生産技術	4	4	4	4	
	環境緑地					
	食品技術					
	生物工学					
計		141	137	136	133	

<定時制課程>

高 校 名	学 科	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
新潟翠江	普通(午前部)	1	1	1	1

<通信制課程>

高 校 名	学 科	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
新潟翠江	普 通	若干人	若干人	若干人	若干人

<中等教育学校>

学 校 名	課 程	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
燕中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

(エリア③ 長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村)

	R5	R6	R7	R8
中学校卒業生数	3,723	3,692	3,574	3,602
前年差	-65	-31	-118	28
	R5	R6	R7	R8
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	63	63	61	62
増減	-2	0	-2	1
定時制学級数	5	5	5	5
増減	0	0	0	0
全定学級数	68	68	66	67
増減	-2	0	-2	1
全日制学校数	16	16	16	16
増減	0	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏崎翔洋中等教育学校前期課程を募集停止とする。 ・ 柏崎高校に県立中学校を併設する。

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模校の特色化やあり方について検討する。 ・ 中高一貫教育のあり方について検討する。 ・ 定時制夜間部のあり方について検討する。
------	---

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
長岡	普通	6	6	6	6	
	理数	2	2	2	2	
長岡大手	普通	6	6	5	6	
	家政	1	1	1	1	
長岡向陵	普通	5	5	5	5	
長岡農業	生産技術	4	4	4	4	
	食品科学					
	生活環境					
長岡工業	機械工学	5	5	5	5	
	電気電子工学					
	物質工学					
	産業デザイン					
長岡商業	総合ビジネス	4	4	4	4	
正徳館	普通	1	1	1	1	
栃尾	総合	2	2	1	1	
見附	普通	3	2	3	3	
柏崎	普通	5	5	5	5	
柏崎常盤	普通	2	3	3	3	
柏崎総合	総合	3	3	3	3	
柏崎工業	機械創造	3	3	3	3	
	電気技術					
	環境化学					
小千谷	普通	5	5	5	5	
小千谷西	総合	4	4	3	3	
計		61	61	59	60	

< 定時制課程 >

高 校 名	学 科	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
長岡明德	普通(午前部)	3	3	3	3
	普通(夜間部)	1	1	1	1
出雲崎	普通(午前部)	1	1	1	1
計		5	5	5	5

< 中等教育学校 >

学 校 名	課 程	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
柏崎翔洋	前期課程	(2)	(2)	(2)	募集停止
中等教育学校	後期課程	2	2	2	2

< 中学校 >

学 校 名		募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
県立中学校(仮称)					1

(エリア④ 十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町)

	R5	R6	R7	R8
中学校卒業生数	1,243	1,284	1,174	1,282
前年差	-114	41	-110	108
	R5	R6	R7	R8
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	30	29	26	28
増減	-2	-1	-3	2
定時制学級数	3	3	3	3
増減	0	0	0	0
全定学級数	33	32	29	31
増減	-2	-1	-3	2
全日制学校数	9	9	9	9
増減	-1	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし
令和8年度	・十日町高校に大学進学を重視した学究型コース(仮称)を設置する。

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した遠隔授業などの実施を踏まえ、小規模校のあり方について検討する。 ・中等教育学校のあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
小出	普通	4	4	3	3	
国際情報	国際文化	3	3	3	3	
	情報科学					
六日町	普通	5	5	4	5	
八海	普通	2	2	2	2	
塩沢商工	地域創造工学	2	2	2	2	
	商業	1	1	1	1	
十日町	普通	5	5	4	4	
	普通(学究型コース)(仮称)				1	
松之山分校	普通	統合				
十日町総合	総合	4	3	3	3	
松代	普通	2	2	2	2	
計		28	27	24	26	

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
堀之内	普通(午前部)	2	2	2	2
十日町	普通(夜間部)	1	1	1	1
計		3	3	3	3

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
津南中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

(エリア⑤ 系魚川市、妙高市、上越市)

	R5	R6	R7	R8
中学校卒業生数	2,209	2,227	2,107	2,184
前年差	-104	18	-120	77
	R5	R6	R7	R8
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	39	39	37	38
増減	-3	0	-2	1
定時制学級数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0
全定学級数	41	41	39	40
増減	-3	0	-2	1
全日制学校数	12	11	11	11
増減	0	-1	0	0
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

令和6年度	・久比岐高校を募集停止とする。
令和7年度	予定なし
令和8年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した遠隔授業などの実施を踏まえ、小規模校のあり方について検討する。 ・中等教育学校のあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

<全日制課程>

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
高田	普通	5	5	5	5	
	理数	1	1	1	1	
高田北城	普通	4	5	4	4	
	生活文化	1	1	1	1	
高田農業	生物資源	4	4	4	4	
	食品科学					
	農業土木					
上越総合技術	機械創造工学	5	5	5	5	
	電気情報					
	建築環境					
	土木防災					
高田商業	総合ビジネス	3	3	3	3	
久比岐	普通	1	募集停止			
有恒	普通	1	1	1	1	
新井	総合	3	4	3	4	
糸魚川	普通	3	3	3	3	
糸魚川白嶺	総合	3	3	3	3	
海洋	水産資源	2	2	2	2	
	海洋開発					
計		36	37	35	36	

<定時制課程>

高校名	学科	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
高田南城	普通(午前部)	2	2	2	2

<通信制課程>

高校名	学科	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
高田南城	普通	若干人	若干人	若干人	若干人

<中等教育学校>

学校名	課程	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8
直江津	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
中等教育学校	後期課程	3	2	2	2

(エリア⑥ 佐渡市)

	R5	R6	R7	R8
中学校卒業生数	379	400	372	386
前年差	-30	21	-28	14
	R5	R6	R7	R8
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	10	11	10	11
増減	-1	1	-1	1
定時制学級数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0
全定学級数	11	12	11	12
増減	-1	1	-1	1
全日制学校数	4	4	4	5
増減	0	0	0	1
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡中等教育学校前期課程を募集停止とする。 ・佐渡中等教育学校の校舎内に佐渡高校両津キャンパス（単位制による全日制課程普通科）を設置する。

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した遠隔授業などの実施を踏まえ、小規模校のあり方について検討する。 ・新しい単位制高校のあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
佐渡	普通	5	5	5	5	
両津キャンパス	普通				1	
羽茂	普通	1	1	1	1	
佐渡総合	総合	3	4	3	3	
計		9	10	9	10	

< 定時制課程 >

高校名	学科		募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
佐渡相川分校	普通(午前部)	1	1	1	1	

< 中等教育学校 >

学校名	課程		募集学級数の見込み			
		R5	R6	R7	R8	
佐渡中等 教育学校	前期課程	(1)	(1)	(1)	募集停止	
	後期課程	1	1	1	1	

4 中等教育学校のあり方について

県教育委員会では、「県立中等教育学校のあり方について（報告）」（令和3年3月）に示された「VI 県立中等教育学校のあり方について提言」（以下、提言とする。）を受け、高等学校の配置や、中等教育学校と地域の伝統校の関係について関係する地元自治体と意見交換を行い、ビジョンを共有できるように努めるとともに、地元自治体の支援状況と県立中等教育学校の志願状況の変化について検証を行ってきました。

提言後の2年間の検証をふまえた県立中等教育学校に係る再編整備の内容につきましては、本紙「令和6年度～令和8年度県立高校等再編整備計画」においてお示ししました。

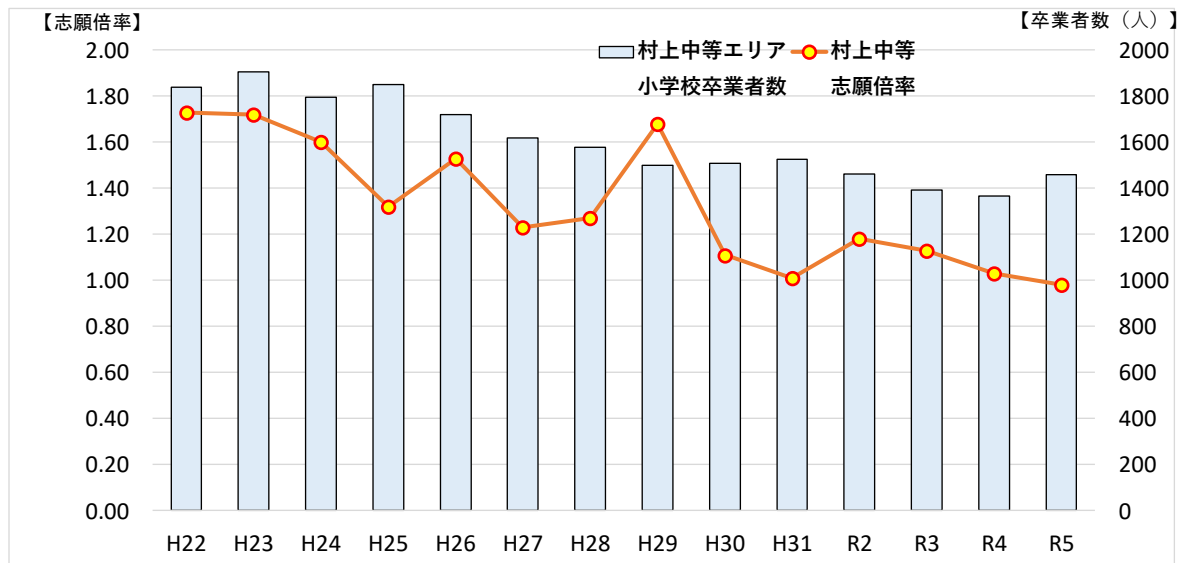
なお、当面存続となる県立中等教育学校においても、地元自治体と意見交換をしながら、その特色化・魅力化を進めるとともに、志願状況や地元自治体からの支援をふまえて今後のあり方について引き続き検討を行って参ります。

【地元自治体等の支援をふまえた県立中等教育学校の志願状況の推移】

- 直江津中等教育学校については、過去5年間にわたり志願倍率が1倍を超えており、中高一貫教育へのニーズが高いことが伺える。村上中等教育学校及び燕中等教育学校においては、欠員が生じているものの、一定の倍率を維持していることから、中高一貫教育へのニーズがあることが伺える。以上の3校については、当面の間、存続とする。
- 津南中等教育学校においては、志願倍率が極めて低い状況にあったが、令和3年度以降に大幅な改善が見られている。特に提言以降の地元自治体等と学校の連携による取組により、令和5年度には最も志願倍率が高い状況となり、中高一貫教育への関心とニーズが高まっていることが伺える。当面の間、存続とするが、人口減少の中にあって今後の志願状況の経過を引き続き見極める必要がある。
- 柏崎翔洋中等教育学校においては、過去3年間で大きな定員割れが生じており、提言以降においても定員割れの数は増加傾向にある。ただし、1学級規模の定員を満たす志願者数が十分にあることから、中高一貫教育へのニーズは一定数存在していることが伺える。以上のことから、中高一貫教育の実施形態を変更することとし、中等教育学校前期課程の募集を停止した上で、柏崎高校に県立中学校(仮称)を併設する。
- 佐渡中等教育学校においては、再編整備計画において募集停止が示された令和3年度及びその翌年の令和4年度については、一時的に志願状況が改善されたものの、それ以前と直近の令和5年度は大きく定員が割れており、特に令和5年度においては1学級募集になってから、最も大きな定員割れが生じた。このことから、中高一貫教育へのニーズが低い状況にあることが伺える。以上のことから、中等教育学校の募集を停止するが、地域の高等学校教育のニーズに対応するため、佐渡高校両津キャンパス(単位制による全日制課程普通科)を佐渡中等教育学校校舎内に設置する。

【資料】地元小学校卒業者数と県立中等教育学校の志願状況

○村上中等教育学校

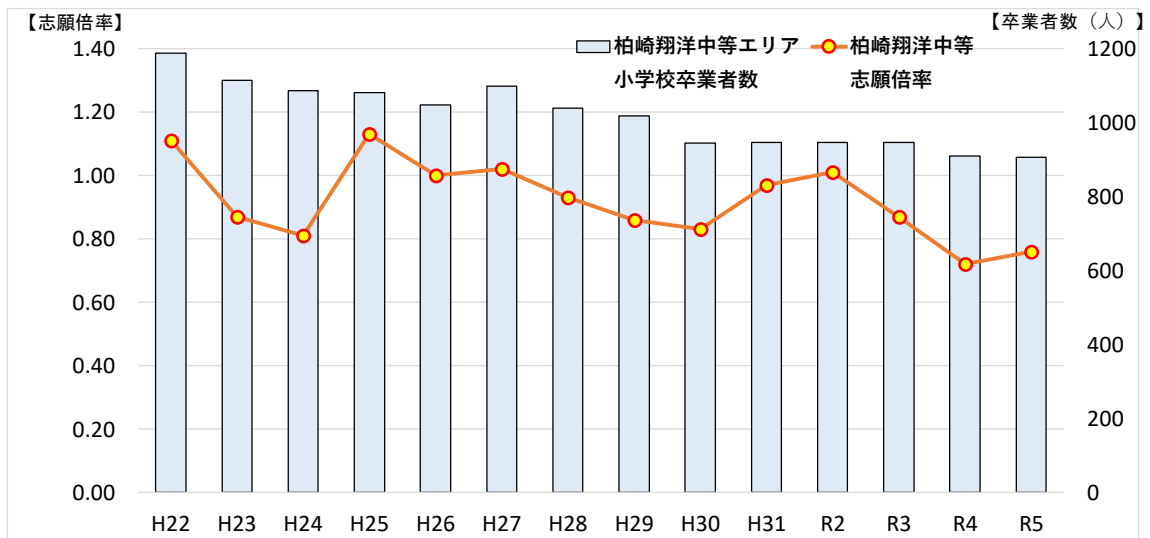


年春	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
村上中等エリア小学校卒業者数	1840	1907	1795	1850	1719	1619	1577	1501	1509	1526	1463	1392	1366	1458
村上中等志願倍率	1.73	1.72	1.60	1.32	1.53	1.23	1.27	1.68	1.11	1.01	1.18	1.13	1.03	0.98

※ 小学校卒業者数は、小学校在籍者数からの推計値

※ 村上中等エリアは、村上市、新発田市、胎内市

○柏崎翔洋中等教育学校

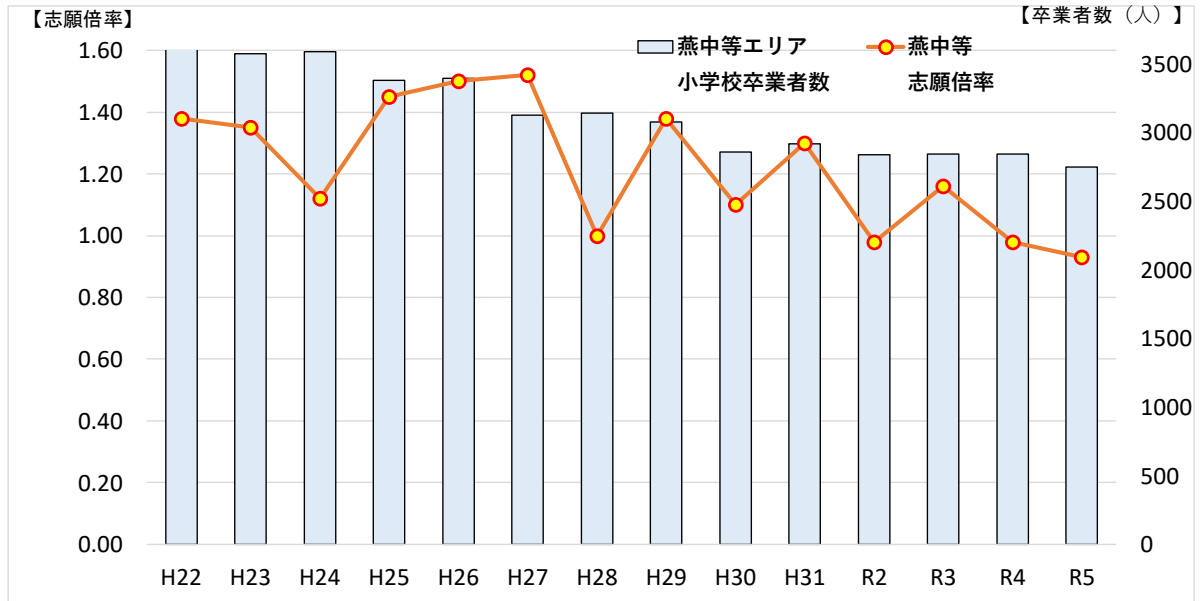


年春	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
柏崎翔洋中等エリア小学校卒業者数	1188	1115	1086	1082	1048	1098	1039	1018	945	946	946	946	909	906
柏崎翔洋中等志願倍率	1.11	0.87	0.81	1.13	1.00	1.02	0.93	0.86	0.83	0.97	1.01	0.87	0.72	0.76

※ 小学校卒業者数は、小学校在籍者数からの推計値

※ 柏崎翔洋中等エリアは、柏崎市、刈羽村、長岡市（旧越路町・旧三島町・旧小国町・旧和島村）

○ 燕中等教育学校

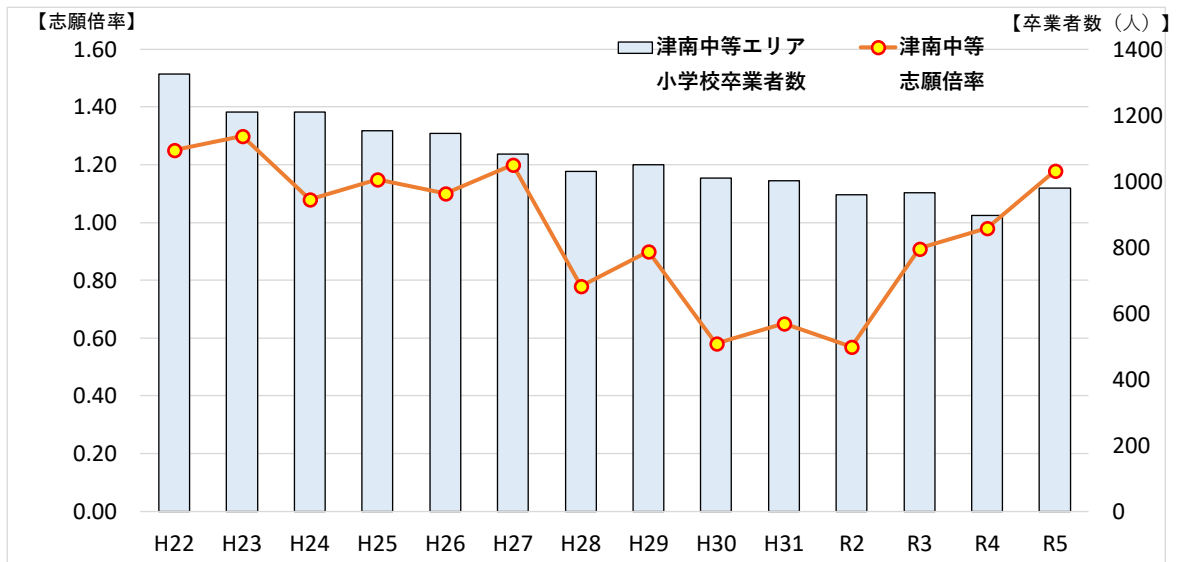


年春	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
燕中等エリア小学校卒業者数	3647	3578	3589	3384	3396	3130	3145	3080	2859	2919	2842	2843	2844	2750
燕中等志願倍率	1.38	1.35	1.12	1.45	1.50	1.52	1.00	1.38	1.10	1.30	0.98	1.16	0.98	0.93

※ 小学校卒業者数は、小学校在籍者数からの推計値

※ 燕中等エリアは、燕市、三条市、加茂市、見附市、弥彦村、新潟市(南区、西蒲区)

○ 津南中等教育学校

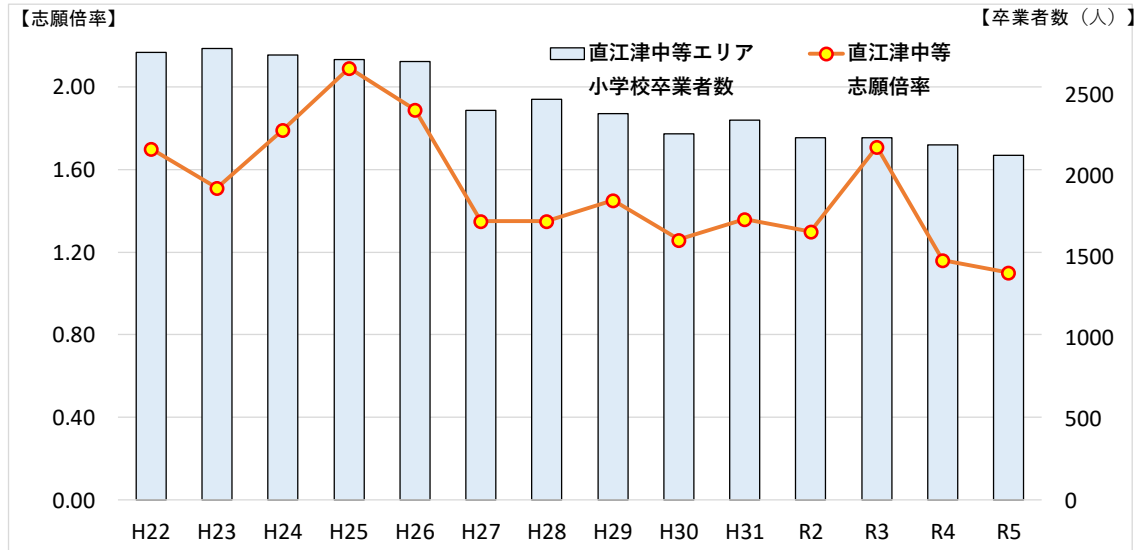


年春	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
津南中等エリア小学校卒業者数	1324	1209	1209	1152	1145	1082	1029	1050	1010	1002	958	964	897	979
津南中等志願倍率	1.25	1.30	1.08	1.15	1.10	1.20	0.78	0.90	0.58	0.65	0.57	0.91	0.98	1.18

※ 小学校卒業者数は、小学校在籍者数からの推計値

※ 津南中等エリアは、津南町、十日町市、南魚沼市

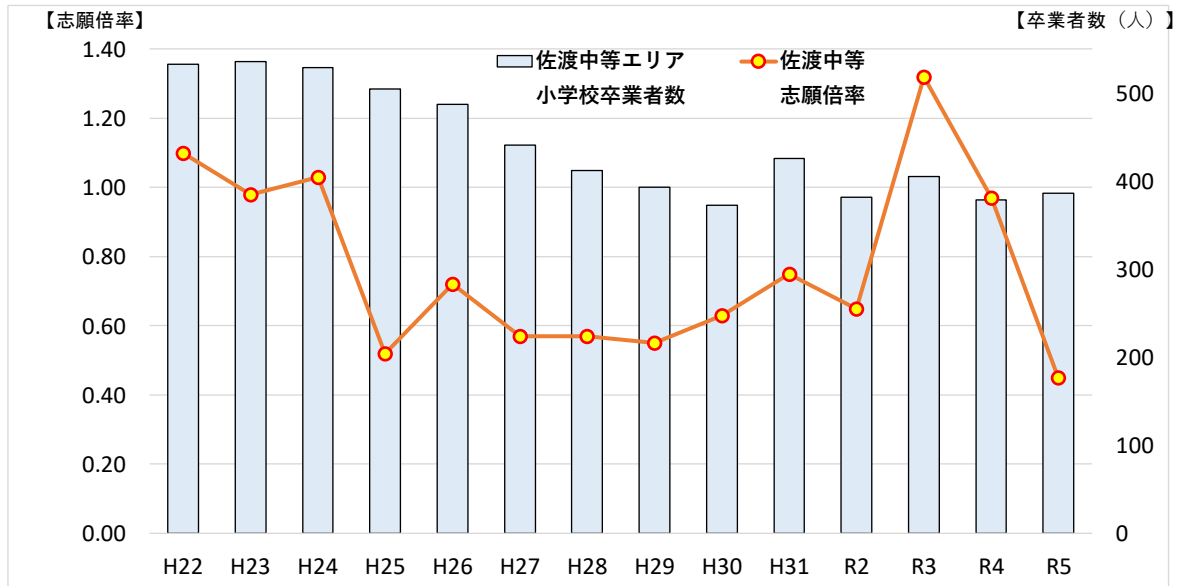
○ 直江津中等教育学校



年春	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
直江津中等エリア 小学校卒業生数	2759	2782	2743	2712	2700	2399	2467	2381	2257	2339	2233	2231	2187	2124
直江津中等 志願倍率	1.70	1.51	1.79	2.09	1.89	1.35	1.35	1.45	1.26	1.36	1.30	1.71	1.16	1.10

※ 小学校卒業生数は、小学校在籍者数からの推計値
 ※ 直江津中等エリアは、上越市、糸魚川市、妙高市
 ※ 直江津中等は、R2まで3学級（120人）募集、R3から2学級（80人）募集

○ 佐渡中等教育学校



年春	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
佐渡中等エリア 小学校卒業生数	533	536	529	505	487	441	412	393	373	426	382	405	379	386
佐渡中等 志願倍率	1.10	0.98	1.03	0.52	0.72	0.57	0.57	0.55	0.63	0.75	0.65	1.32	0.97	0.45

※ 小学校卒業生数は、小学校在籍者数からの推計値
 ※ 佐渡中等エリアは、佐渡市
 ※ 佐渡中等は、H31まで2学級（80人）募集、R2から1学級（40人）募集

問い合わせ先

新潟県教育庁高等学校教育課

企画振興係

電話 025-285-5511 (代) 内線 3887

Eメール ngt500050@pref.niigata.lg.jp

URL [https://www.pref.niigata.lg.jp/
sec/kotogakko/](https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kotogakko/)